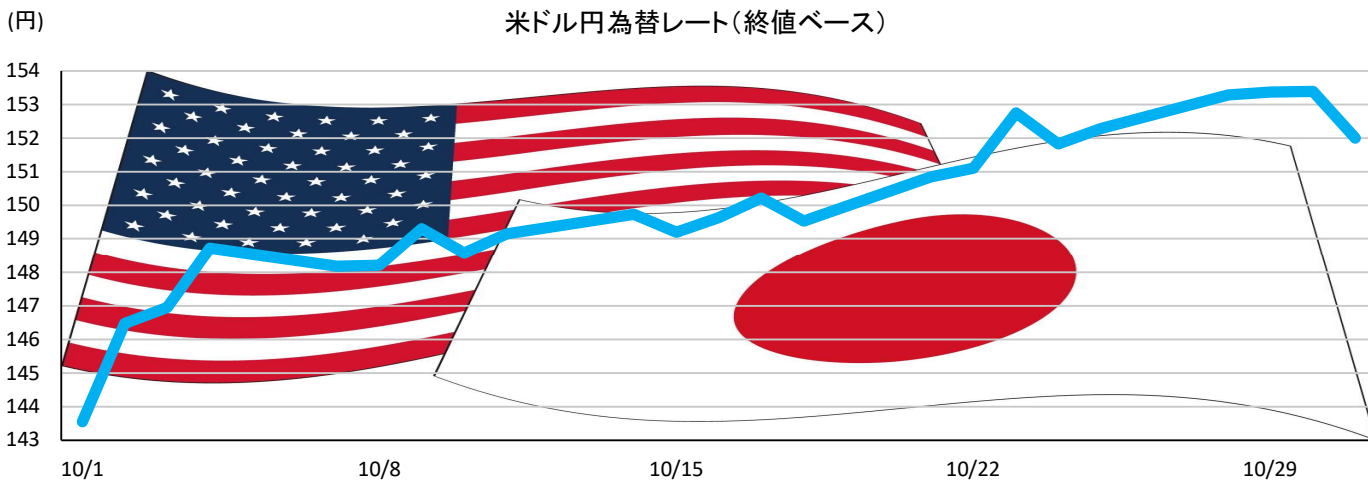


MONTHLY REPORT

先月の振り返り：10月のドル円相場は142円後半～153円後半で推移。石破首相と植田日銀総裁が会谈後に当面の利上げを否定したことを受けて円安で反応し、さらに米雇用統計が市場予想を上回り円安ドル高が進んだ。その後は心理的節目の150円台が近づき円安けん制発言が聞かれるなどして上値が重くなっていたが、良好な米経済指標発表が続いたことでドル円は底堅く推移し150円台に達すると、米国大統領選でトランプ氏優勢と報じられたことがドル買いに拍車をかけた。27日の衆議院総選挙で自民党と公明党の連立与党が過半数割れとなり、政局不安が台頭し日銀が追加利上げに踏み切りづらくなるとの見方が強まり、ドル円は約3ヶ月振りに153円台をつけたものの、月末の日銀金融政策決定会合後に植田総裁が利上げの可能性に言及したことで円買いが強まった。



MARKET REVIEW

中東情勢：ハマスがイスラエルを急襲してから1年以上経過したが、収束の見通しは立っていない。これまでは原油などの供給が滞る可能性は低いと見られマーケットへの影響はそれほど大きくなかったが、ヒズボラへの大規模攻撃を受けてイランがイスラエルを攻撃、それに対してイスラエルがイランの軍事施設へ報復攻撃を示唆するなど、戦火が広がってきたことで地政学リスクは高まってきている。ただ両国ともこれ以上の大規模な紛争に発展することは避けたい思惑があるとみられることから、選出される米国の新大統領の立ち位置によって、情勢に大きな変化が出てくるのではないだろうか。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
11 / 27 (水)	0 : 00	US	新築住宅販売件数	☆☆☆☆
11 / 27 (水)	22 : 30	US	米GDP改定値	☆☆☆☆
11 / 28 (木)	0 : 00	US	PCEデフレーター	☆☆☆☆
12 / 4 (水)	0 : 00	US	JOLTS求人情数	☆☆☆☆
12 / 6 (金)	22 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
12 / 11 (水)	22 : 30	US	消費者物価指数 (CPI)	☆☆☆☆
12 / 12 (木)	22 : 15	EU	欧州中央銀行 (ECB) 政策金利	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていることがありますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。